



今回の内容：第10回散布・第11回散布・リップ収穫前管理・ハダニ剤の選択

【重要】

これまでの生育経過と病害虫発生状況、現在の防除スケジュールを踏まえて、一部農薬について、年間防除暦から散布時期を変更しております。下記内容のご確認をお願い致します。

・病害防除は予防散布が基本となりますので、散布予定日に降雨が予想される場合は前倒しで散布してください。

● 第10回 7月下旬（定期散布）

【注意】「エコマイト顆粒水和剤、展着剤スカッシュ」は第10回に繰り下げてあります。

散布時期	7/24～29頃 *前回から14日後	【7月下旬 定期散布】
散布薬剤	水	1000ℓ
	展着剤（スカッシュ）	100ml
	エクシレル SE	20ml (前日、3回)
	エコマイト顆粒水和剤	50g (7日前、1回)
	ダイパワー水和剤	100g (前日、3回)
対象病害虫	輪紋病・炭そ病・褐斑病・斑点落葉病 ハダニ類・シンクイムシ類・キンモンホソガ	
散布量	10a当り 600ℓ	
注意事項	① 【シンクイムシ類対策】エクシレル SE に代えて、アーデントフロアブル 2,000 倍（前日、3回）を使用する。 ② 【代替】エコマイト顆粒水和剤に代えて、ダニコングフロアブル 2,000 倍（前日、1回）でも良い。 ③ 【ドリフト注意】エコマイトはりんご、おうとう以外登録が無いので飛散しないよう注意する。	

● 第11回 8月上中旬（定期散布）

散布時期	8/10～15頃 *前回から14日後	【8月上中旬定期散布】
散布薬剤	水	1000ℓ
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml
	コロマイト乳剤	100ml (前日、1回)
	ナリア WDG	50g (前日、3回)
	㊦ バリアード顆粒水和剤	50g (前日、3回)
対象病害虫	輪紋病・炭そ病・斑点落葉病・褐斑病・すす点病・すす斑病・黒星病 ハダニ類・カメムシ類・シンクイムシ類・リンゴワタムシ (キンモンホソガ・ギンモンハモグリガ・コナカイガラムシ類)	
散布量	10a当り 600ℓ	
注意事項	① 【代替】ハイテンパワーに替えてササラ 2,000 倍でもよい。	

次面もご覧ください。（シナノリップ収穫前管理／殺ダニ剤の選択）

●シナノリップの収穫前管理について

- ・ 収穫予想 : 中野市 8月7日頃 *満開後105日 収穫は必ず3回以上分けて行う
- ・ 着色管理

葉摘みは2回に分けて行う。(日焼け果に注意)

1回目:7月中旬頃 曇り、最高気温30℃程度の日を狙って行う。葉は1果2枚を限度とし、摘みすぎない。

2回目:収穫10日前程度

*7月下旬(または葉摘み2回目の頃)に“タイベック”を敷くと樹冠内部の果実が着色しやすくなります。

・心かび果の除去

7月中旬頃から、早期に地色が抜けてきて縞状に着色してきている果実があります。

心かび果である可能性が非常に高いですので、早期に着色している果実については除去してください。
また除去の際は一度中を割り、心かび果なのかの確認してください。



●心かび果の判断ポイント

- ①異常に早く着色した果実
- ②地色の抜けが異常に早い果実
- ③収穫期に近づくほど、着色が進み、心かび果かどうかの判断が難しくなります。

まずは、割ってみて、心かび果かどうかを確認して下さい。

極力、心かび果は除去するよう努めて下さい。 問合せ先:23-3933

●ハダニ類の防除、殺ダニ剤の選択について

○:効果ある △:効果やや劣る ×:効果ない

薬剤名	倍率	使用基準	使用回数	IRACコード	種類に対する効果		ステージに対する効果		
					リンゴハダニ	ナミハダニ	卵	幼若虫	成虫
コロマイト乳剤	1000	前日	1回	6	○	○	○	○	○
オマイト水和剤	750	3日前	1回	12	○	○	○	○	○
マイトコーネフロアブル	1000	前日	1回	20	○	○	△	○	○
カネマイトフロアブル	1000	7日前	1回	20	○	○	○	○	○
ダニゲッターフロアブル	2000	前日	1回	23	○	○	○	○	△
エコマイト顆粒水和剤	2000	7日前	1回	23	○	○	○	○	△
ダニサラバフロアブル	1000	前日	2回	25	○	○	○	○	○
ダニコングフロアブル	2000	前日	1回	25	○	○	○	○	○

① 殺ダニ剤ローテーションについて : 防除スケジュールと発生状況を踏まえ、年間防除暦からハダニ剤を変更しています。

- ◆ 第9回(7月上中旬): (発生園のみ カネマイトフロアブル 1,000倍)
- ◆ 第10回(7月下旬): エコマイト顆粒水和剤2,000倍(卵~幼若虫に高い効果・初期発生に散布・残効長い)
- ◆ 第11回(8月上中旬): コロマイト乳剤1000倍(即効性・卵~成虫まで効果高い・残効短い)
- ◆ 第12回(8月下旬): オマイト水和剤750倍(成虫に効果あり・残効やや短い)⇒ダニ退治の締め
- ◆ 第13回(9月上中旬): (発生園のみ アカリタッチ乳剤 1,000倍)

② 注意事項

- ◆ ダニサラバ・ダニコングは同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、どちらかを年1回のみ使用とする。
- ◆ ダニゲッター・エコマイト顆粒水和剤は同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、どちらかを年1回のみ使用とする。
- ◆ エコマイト(ダニゲッター)・ダニコング(ダニサラバ)は成虫に対してやや遅効的效果を示す。散布7日後以降に効果が発現する。

次回配布(予定):8月中旬
内容:第12回定期散布
第13回定期散布